

環境活動レポート

対象期間【平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月】

平成 28 年 12 月発行

沖縄県医療廃棄物事業協同組合



目次

1. 組織の概要・対象範囲	1～5
2. 環境方針	6
3. 環境目標	7
4. 環境活動計画	8
5. 環境目標の実績	9
6. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	9～10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	12

1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
沖縄県医療廃棄物事業協同組合
代表理事 南 裕次
- (2) 【本社所在地】
〒904-2142
沖縄県沖縄市字登川 3410 番地の 1
- 【焼却・中和施設設置場所】
沖縄県沖縄市字登川 3328 番 1 他
- (3) 環境保全関係の責任者及び「環境活動レポート」に関する問合せ先
環境管理 事務局長 森根 進
責任者
担当者 佐久川 明美
連絡先 電話番号 (098) 939-9999
FAX 番号 (098) 939-6999
<http://www.iryokumiai.org/>
E-mail ikumi99@aurora.ocn.ne.jp
- (4) 創立年月日
平成 9 年 3 月 1 2 日
- (5) 資本金
1,250 万円
- (6) 事業活動の内容
【特別管理産業廃棄物収集運搬業】 許可番号：第 04752054532 号
【特別管理産業廃棄物中間処分業】 許可番号：第 04772054532 号
【産業廃棄物収集運搬業】 許可番号：第 04702054532 号
【産業廃棄物中間処分業】 許可番号：第 04723054532 号
【一般廃棄物収集運搬業許可証 沖縄市】 沖市指令第 20 号
【一般廃棄物収集運搬業許可証 宜野湾市】 許可第 13 号
【一般廃棄物処分業許可証 沖縄市】 沖市指令第 21 号
- (7) 事業計画の概要
医療機関より排出される医療廃棄物を収集運搬し、当組合の焼却施設で焼却処分する。

(8) 事業の規模

活動規模	単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
収集運搬量	t	1,150	1,271	1,258
中間処理量	t	1,288	1,421	1,408
売上高	千円	162,642	178,020	174,626
従業員	人	12	14	14
事務所床面積	m ²	253	253	253

(9) 許可の内容

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】優良認定事業所

許可番号：第 04752054532 号

許可年月日：平成 25 年 6 月 9 日

有効年月日：平成 32 年 6 月 8 日

事業の範囲：感染性産業廃棄物、廃油
(積替え保管を含まない)

【特別管理産業廃棄物中間処分量】優良認定事業所

許可番号：第 04772054532 号

許可年月日：平成 26 年 1 月 21 日

有効年月日：平成 33 年 1 月 20 日

事業の範囲：感染性産業廃棄物、廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥

【産業廃棄物収集運搬業】

許可番号：第 04702054532 号

許可年月日：平成 27 年 7 月 12 日

有効年月日：平成 32 年 7 月 11 日

事業の範囲：燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、動物の死体、ばいじん
(積替え保管を含まない)

【産業廃棄物中間処分量】

許可番号：第 04723054532 号

許可年月日：平成 27 年 7 月 12 日

有効年月日：平成 32 年 7 月 11 日

事業の範囲：燃えがら、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、動物の死体、ばいじん、廃酸、廃アルカリ

【一般廃棄物収集運搬業許可証】（沖縄市）

許可番号：沖市指令第 20 号

許可年月日：平成 27 年 4 月 20 日

有効年月日：平成 29 年 4 月 19 日

事業の範囲：紙くず、木くず、繊維くず

【一般廃棄物収集運搬業許可証】（宜野湾市）

許可第 13 号

許可年月日 平成 27 年 11 月 1 日

有効年月日 平成 29 年 10 月 31 日

事業の範囲：紙くず、木くず、繊維くず

【一般廃棄物処分業許可証】（沖縄市）

沖市指令第 21 号

許可年月日 平成 27 年 4 月 20 日

有効年月日 平成 29 年 4 月 19 日

事業の範囲：紙くず、木くず、繊維くず

(10) 施設等の状況

① 運搬車輛の種類

沖縄 100 せ 5804 (バン) 1 台

沖縄 100 せ 5805 (バン) 1 台

沖縄 100 せ 2523 (バン) 1 台

② 処理施設の種類

焼却施設 処理能力 600 k g / 時間

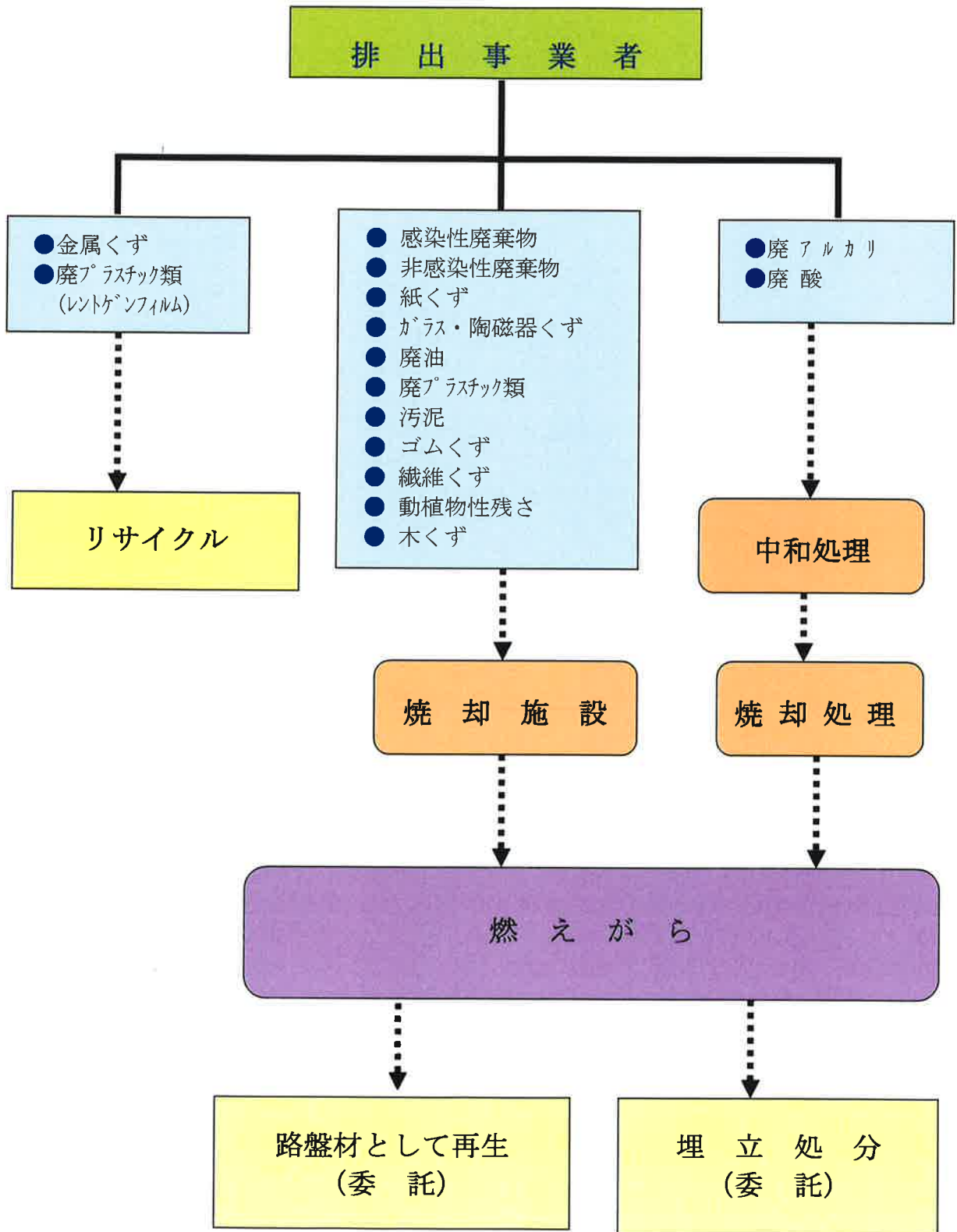
中和施設 処理能力 15 m³ / 日

処理した種類：感染性産業廃棄物、非感染性廃棄物、廃プラスチック類、紙くず、
廃アルカリ、廃酸、ガラス・陶磁器くず、木くず、
動植物性残さ、廃油、繊維くず、ゴムくず、汚泥、金属くず

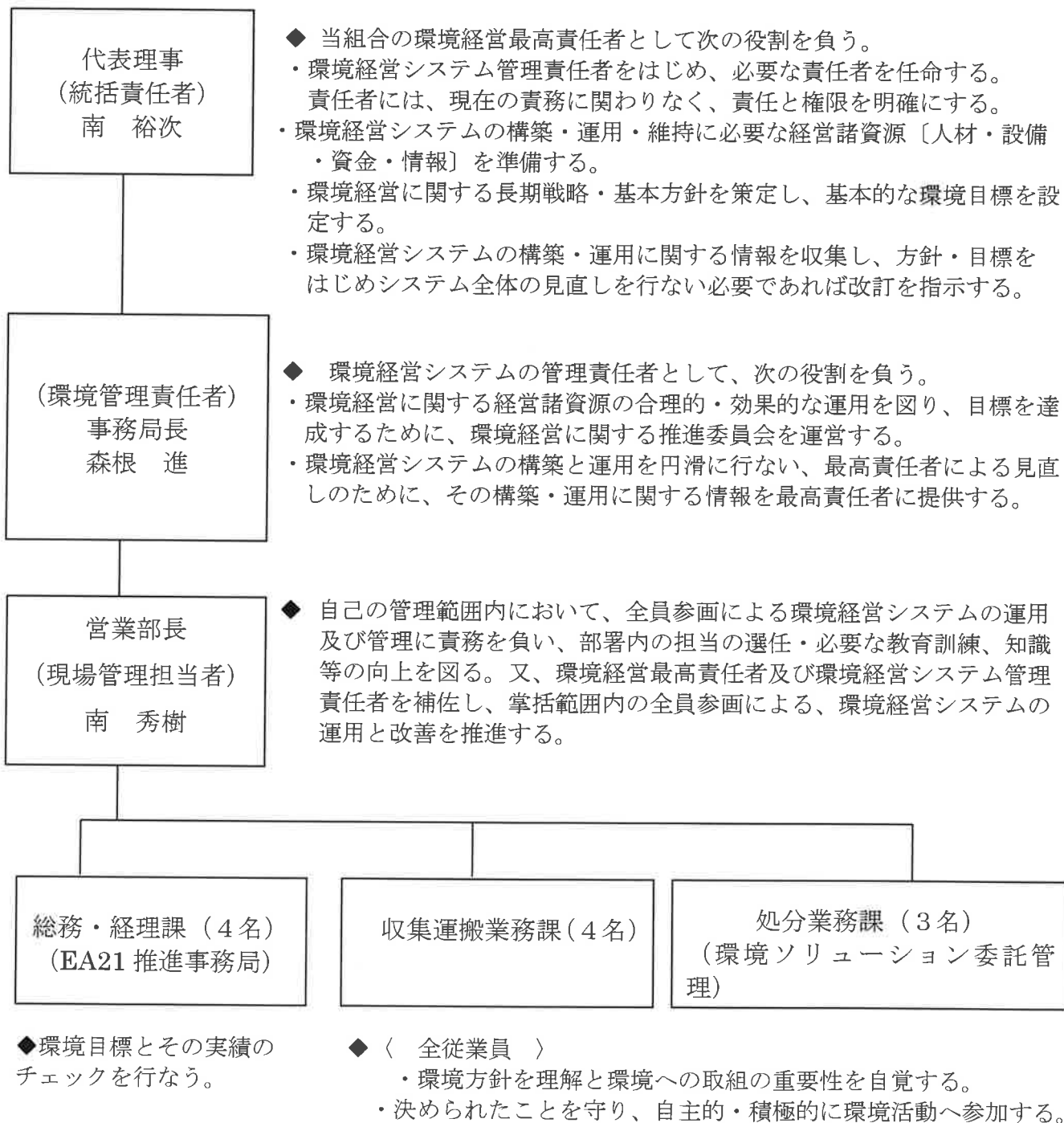
(11) 対象範囲

全組織・全活動が適用範囲となっております。

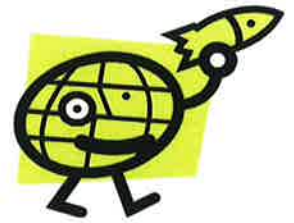
処理方式及び処理工程図



環境経営組織図



2. 環境方針



当組合は、医療廃棄物の適正処理低炭素社会、循環型社会並びに自然共生社会の形成をめざすと同時に県民の生活環境の保全に貢献します。

《行動指針》

当組合は、全ての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、廃棄物処理に関する事業遂行能力〔人材・設備・資金・情報〕を駆使し、以下の環境保全活動を推進する。

1. 当組合は「より良い環境を次世代に」をテーマに、蓄積した医療廃棄物処理技術を通して、地球環境の保全に貢献します。
2. 国、地方自治体等の環境に関連する法令規制及び当組合が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 医療廃棄物の収集・運搬及び処理の事業活動において、廃棄物の削減、分別リサイクル、節水及び省エネルギーの取組を推進する。
4. 焼却炉の適正運転管理を徹底する。又、収集運搬車両のエコドライブを実践し、排出ガスの抑制を図る。
5. 全職員に対する環境教育を計画的に実施し、環境保全に対する意識の向上に努めるとともに、一人一人が良き社会人として行動する。
又、環境方針は、全職員に周知徹底することはもとより、社外にも開示する。
6. グリーン購入の調達を推進する。



改定日：平成28年 3月31日
沖縄県医療廃棄物事業協同組合
代表理事 南 裕次

3. 環境目標

環境への負荷の状況を取りまとめて検討した結果、当組合の事業活動が環境に与える負荷項目として下記が該当する。二酸化炭素排出量の購入電力排出係数を平成26年度実排出係数に修正した為、各項目基準値を全て平成26年度実績基準に見直した。毎年下記のと通りの削減を目標とする。

なお、当組合は、化学物質の取扱いは無い。

- ① 二酸化炭素排出量・・・平成26年度を基準値に、二酸化炭素排出量として購入電力・化石燃料・廃棄物焼却とする。
(2%削減)

※購入電力の二酸化炭素排出係数は平成26年度実排出係数 0.858 kg-CO₂/kwh で算出する。

- ② 廃棄物総排出量・・・平成26年度を基準値に、廃棄物総排出量として事務所からのごみ一般廃棄物とする。
(2%削減)

産業廃棄物の排出として、中間処理合計に3%をかけた量を燃え殻とする。

- ③ 水資源投入量・・・平成26年度を基準値に、総排水量の把握が困難な為、
(0.4%削減) 水資源投入量（上水と地下水）で把握する。

- ④ 化石燃料使用量・・・平成26年度を基準値に、化石燃料として重油・ガソリン・
(2%削減) 軽油を使用している。

- ⑤ グリーン購入の調達・・・事務用品環境配慮商品の調達基準・目標値を構成比の
50%とする。

- ⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境を配慮

目標値（受入量での比率）	基準値	平成27年度目標	平成28年度目標	平成29年度目標	平成30年度目標
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) / k g	0.37	0.36	0.35	0.34	0.33
廃棄物総排出量 (k g) / k g × 1,000	0.17	0.16	0.15	0.14	0.13
水資源投入量 (m ³) / k g × 1,000	0.99	0.98	0.97	0.96	0.95
化石燃料量 (MJ) / k g	1.40	1.37	1.34	1.31	1.28
グリーン購入の調達 営業車は、エコカーを購入する 事務用品環境配慮商品の調達構成比	5台 30%	5台 50%	5台 50%	5台 50%	5台 50%
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	受託した産業廃棄物の分別リサイクルに取り組む				

- ① 二酸化炭素排出量目標値＝排出量÷廃棄物受入量にて算出
② 廃棄物総排出量目標値＝排出量÷廃棄物受入量×1,000にて算出
③ 水資源投入量目標値＝投入量÷廃棄物受入量×1,000にて算出
④ 化石燃料使用量目標値＝化石燃料量÷廃棄物受入量にて算出

4. 環境活動計画

① 二酸化炭素排出量

- ・廃棄物の分別を徹底し再使用、再利用に取り組む
- ・焼却炉処理施設の整備点検を定期的に行う
- ・焼却炉の燃焼温度を 850℃以上に保ち温度管理を徹底する
- ・燃焼効率を高め運転管理を徹底する
- ・空調機器の設定は冷房 28℃程度とする
- ・昼休み、時間外の照明等は停止する
- ・植栽により二酸化炭素吸収に取り組む

② 廃棄物排出量

- ・事務所から排出される廃棄物等の発生を抑制し、分別を徹底する
- ・コピー用紙等の裏紙利用を徹底する
- ・コピー機、プリンターのカートリッジ、インクの容器は、販売店回収箱に持って行く
- ・書類の電子化
- ・エコ商品を積極的に購入する

③ 水資源投入量

- ・排水処理施設からの排水を焼却炉の冷却水とし再利用し、地下水の使用量を削減する
- ・雨水を集水することにより植栽の散水等雨水利用に積極的に取り組む

④ 化石燃料使用量

- ・排気ガス、騒音、振動等のレベルを抑えるため車輛整備を徹底して行う
- ・収集運搬車輛の取扱について、エコドライブを推進する
- ・作業時間、走行距離の短縮化、運搬経路（渋滞等）を考慮し収集運搬の効率を高める

⑤ グリーン購入の調達の推進

- ・車輛の購入時にはエコカーを検討購入する。
- ・エコマーク対応商品、CPN、グリーン購入法、再生材料、環境配慮商品から優先的に購入する。
- ・事務用品調達リストを作成し、事務用品総購入額に対して、環境配慮商品購入額の構成比 50%に取り組む。

⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮 (処分業)

- ・受託した産業廃棄物を金属くず、レントゲンフィルムの分別リサイクルに取り組み数量を把握する。

(収集運搬分業)

- ・収集運搬担当者のエコドライブ教習受講で、収集運搬車両の燃費向上に取り組む。

5. 環境目標の実績

目標値（受入量での比率）	基準値	平成 27 年度目標	平成 27 年度実績	
二酸化炭素排出量（kg-CO ₂ ）/k g	0.37	0.36	0.38	×
廃棄物総排出量（k g）/k g×1,000	0.17	0.16	0.16	○
水資源投入量（m ³ ）/k g×1,000	0.99	0.98	1.00	×
化石燃料量（MJ）/k g	1.40	1.37	1.45	×
グリーン購入の調達 営業車は、エコカーを購入する 事務用品環境配慮商品の調達構成比	5 台 30%	5 台 30%	5 台 50%	○ ○
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	受託した産業廃棄物の分別リサイクルに取り組んだ。			○

二酸化炭素排出量実績(0.38)=排出量(538,722) ÷ 廃棄物受入量(1,411,740)
 事務所廃棄物総排出量実績(0.16)=排出量(229) ÷ 廃棄物受入量(1,411,740) × 1,000
 水資源投入量実績(1.00)=投入量(1,414) ÷ 廃棄物受入量 (1,411,740) × 1,000
 化石燃料量実績(1.45)=化石燃料量(2,040,254) ÷ 廃棄物受入量(1,411,740)

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

① 二酸化炭素排出量

【取組結果・評価】

焼却施設老朽化による部品交換等のメンテナンスが遅れてしまい電気使用量が増加した為、目標値は達成できなかった。

【次年度の取組内容】

焼却施設の早めの長期メンテナンスを実施して、燃焼効率を高め運転管理、整備点検を行い電気使用量の削減に努める。

② 廃棄物総排出量

【取組結果・評価】

事務所から排出されるコピー用紙の裏紙利用、コピー機等のインク容器を販売店へ返却により廃棄物排出量が削減し、目標を達成することができた。

【次年度の取組内容】

引き続き廃棄物排出を抑制する。書類の電子化も進める。

③ 水資源投入量

【取組結果・評価】

水資源投入の削減に取り組んだが、焼却施設への通常稼働時以上に大量使用した為、投入量が増加した。

【次年度の取組内容】

焼却施設への水資源投入量を減少するよう整備点検に取り組む。

④ 化石燃料使用量

【取組結果・評価】

受入廃油を焼却施設燃料へ再利用と車輻のエコドライブ等を実施したが、焼却施設の燃料使用量が増加した。

【次年度の取組内容】

焼却施設への燃料使用量を減少するよう整備点検に取り組む。
引き続きエコドライブ、車輻の整備点検、走行距離の短縮化を強化する。

⑤ グリーン購入の調達を推進する

【取組結果・評価】

事務用品環境配慮商品の目標値調達構成比 50%を達成することができた。

【次年度の取組内容】

引き続き事務用品の注文を環境配慮商品が管理できる業者を選定し、調達構成比の目標値を上げる。

⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分業における環境配慮

【取組結果・評価】

今年度も処分業における環境配慮は、受託した産業廃棄物の分別、リサイクルに取り組むことができた。
収集運搬業における環境配慮は、エコドライブを実践することができた。

【次年度の取組内容】

次年度も収集運搬車輻の走行距離の記録に取り組む。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当組合に適用となる環境関連法規は、下記のとおりである。

承認者	作成者

平成 28 年 3 月

	法規規制等の名称	遵守事項	測定頻度 遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	・特管・産廃処分業・収集運搬業許可証の更新	5年毎・適
		・産業廃棄物処理施設設置許可証の申請	適
		・産業廃棄物処理委託契約書の保存	5年間・適
		・マニフェストの保存	5年間・適
		・廃棄物処理施設の維持管理情報の公開	毎月・適
		・産業廃棄物処理施設技術管理責任者の設置	適
2	大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置届出書	年2回測定 適
3	騒音規制法	特定施設の設置届出書	適
4	振動規制法	特定施設の設置届出書	適
5	悪臭防止法	特定悪臭物質の測定結果報告書	年1回測定 適
6	ダイオキシン類対策特別措置法	ダイオキシン類測定結果報告書	年1回測定 適
7	消防法	・少量危険物貯蔵届出書	適
		・ボイラー設置届出書	適
8	沖縄市公害防止条例	公害防止協定	年1回報告 適
9	グリーン購入法	物を購入、調達する際の環境への配慮	適
10	浄化槽法	汲取り清掃	年1回 適

(1) 環境関連法規への違反の有無

無し。

(2) 訴訟等の有無

無し。

代表者による全体の評価と見直し

今年度の環境配慮目標は6項目中3項目が未達成に終わった。
未達成項目については、二酸化炭素排出量、水資源投入量、化石燃料
です。要因としては焼却炉部品の摩耗と老朽化による、交換時期を逃し、
それが結果的にダウンし修理に時間を要した。
今回の反省を踏まえ、長期メンテナンスを実施して、それを機に焼却炉
以外の施設に於いても修理や交換を要する箇所の整備、共同使用者(社)
である環境ソリューションで1ヶ月間の廃棄物の受入れを制限した。
そして整備後には、焼却炉の稼働にあたり試運転時の為の化石燃料
や水を通常稼働時以上に大量使用(数日間テスト稼働)した事が要因。
今後は各施設を前倒しによる点検と修理、部品交換で十分に正常稼働
の継続と維持管理を図る。

引続き環境活動計画の推進を図り、目標の設定の見直し、環境
負荷により一層の削減目標の達成に向けて取組む。
CSR活動の一環として周辺主要道路を毎月1回グループ会社
合同で清掃活動「クリーンデー」を実施、今後も周辺地域の環境
美化活動を継続取組む。

平成28年12月20日
沖縄県医療廃棄物事業協同組合
代表理事 南 裕次

CSR活動

(1) エコアクション21中央事務局から
認証登録10年持続優良事業所
事業所として表彰を受けました。



(2) 優良認定事業所の認定取得しました。

(優良認定、産業廃棄物処理事業所)

認定基準

- ① 実績と遵法性
- ② 事業の透明性
- ③ 環境配慮の経営

(エコアクション21認証済)

- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 健全な財務体質

※優れた能力及び優良基準実績を有した
「優良認定制度」で県内産業廃棄物処理
業者900社の内、優良認定を受け
ているのが僅か4社となっております。



(3) 講習会

① 平成29年3月9日 エコアクション21セミナー 事例発表講演を行う

発表者 森根 進
開催場所 沖縄県産業支援センター
主催者 沖縄県環境再生課



② 平成28年度産業廃棄物優良化促進事業研修会
優良認定事例発表講演を行う

発表者 森根 進
県内4会場にて講演会開催
① 平成29年3月1日 沖縄県工業技術センター
② 平成29年3月2日 カルチャーリゾートフェストーネー
③ 平成29年3月6日 八重山保健所
④ 平成29年3月7日 宮古保健所
主催者 沖縄県環境整備課



優良認定取得によるメリット

- ① 社員が仕事に対するモチベーションが一層高まり自信を持ち、顧客との交渉、契約等への営業力の強化図られた。
- ② 優良認定の取得により医療機器会社や医療機関からの高い評価を受け紹介取引が増えてきています。
- ③ 施設視察、見学の受け入れにより、顧客に安心・安全と透明性を明確にした適正処理へのアピールができています。
- ④ グループ会社で毎月第4月曜日に定例化して近隣道路周辺の清掃活動実施中(名称をクリーンデーとした)。

No③



No④



エコアクション21取組と産業廃棄物「優良認定」取得による効果と有効活用の事例について



事業所 沖縄県医療廃棄物事業協同組合
発表者 森根 進



優良産業廃棄物認定制度について 優良認定制度活用事例



処分業者 沖縄県医療廃棄物事業協同組合
発表者 事務局長 森根 進